

JRECO 通信

No.28



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

引き続き、一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構（JRECO）として、会員の皆様に知っていただきたいこと等を『JRECO 通信』としてお届けします。

I. JRECO 誕生の秘話

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構

参与 作井正人

JRECO*1が発足したのは平成23年（2011）10月でしたので、今年で12年となります。この新組織の専務理事を任せて頂いてから、本年令和5年（2023）6月21日の評議員会を以て退任するまで12年間務めさせていただきました。そこで、JRECO 誕生の経緯をお伝えしようと思います。

話は少し遡りますが、平成19年（2007）頃より、冷凍空調機器からのフロン類の漏えい問題が環境保護系の国会議員、NPO などの間で騒がれ始められていました。当時、世間では、フロン類の漏えい問題への関心は現在よりはるかに高かったと思います。平成21年（2009）3月17日の「産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会（第21回）」にて、機器使用時の排出係数の見直しが発表され、HFC 推定排出量は旧係数よりも6.8百万t-CO₂多い、11.4百万t-CO₂となることが公表され、翌日の新聞各紙に大きく取り上げられました。

日冷工*2では岸本哲郎専務理事が中心となって、冷媒の温暖化防止対策の活動を行い、さらに長期的な構想の実現を計画されていました。その構想とは、法の改正への対応とその受け皿団体の創設だと後に伺いました。そして、平成19年より専務理事直轄の「フロン対策WG」を暫定的に発足させ「冷媒転換」、「冷媒回収促進」、「冷媒漏えい対策」を三本の柱としました。その活動の一つには、機器に充填されている冷媒の量を地球温暖化係数（GWP）に応じたCO₂換算値を機器本体に見えるように表示する、「冷媒の「見える化」」の実施でした。さらに、日冷工はオゾン室*3、フロン室*4との調整を重ね、フロン漏えい対策と「フロン排出抑制法」改正に向けた審議会、各関係団体を牽引していく中心的な役割を担っていったのです。

その後、「フロン対策WG」は環境企画委員会内に「漏えい対策WG」として日冷工の正式機関として設置されました。その当時、私は同委員会の委員長、WG 主査として『冷媒漏えい防止ガイドライン（JRA GL-14）』策定にあたっていました。WG 活動は平成20年（2008）に始まり、2年半の時間をかけ令和22年（2010）9月にやっと、JRA GL-14が完成しました。WG 開始時は、何もお手本がなく全くの五里霧中でしたがEU 指令なども参考にしながら、徐々に骨子ができあがり①機器の設計・製造・廃棄までの関係者を適用の範囲、②機器の定期点検、③点検・修理する者の資格、④点検・整備記録の保存、と具体的になって行きました。これはWG 委員のチームワークと事務局の尽力の賜物だったと今でも感謝しています。そして、最終年に日設連*5がこのガイドラインに参画したことで、内容はより充実されました。さらに、JRA GL-14をベースとした日設連ガイドライン（JRC GL-01）も制定され、この両者の共有意識が以降の「フロン漏えい対策」で発揮され、「世界最高水準の冷媒管理体制の実現」を目指すことになったのです。

産構審*6・中環審*7の合同会議では「フロン排出抑制法」改正を主眼として審議が行われ、平成23年(2011)7月：第1回～平成25年(2013)3月まで、計8回の審議を経て、「フロン排出抑制法」が平成25年6月に公布となりました。ここでも、日冷工が業界団体の調整と両省との協議を中心的に行い、業界を牽引していました。そして、時期を同じくして日冷工が中心となって、団体再編の協議をオゾン室と行っていました。

その結果、オゾン室主導のもと、日冷工、日設連、フルオロ協*8の三団体が合議し「フロン排出抑制法」の受け皿となるべく「世界最高水準の冷媒管理体制実現」に向けて活動を行う団体を創設することになったのです。まず初めに、RRC*別登記事業の法人格取得を、日冷工、日設連の総会(平成23年(2011)6月)で承認させ、8月4日に設立趣意書を取り纏め、三団体が設立者としてJRECOを創設させました。さらにその先には、平成24年度中に、JRECOとJICOP*別登記、INFREP*別登記を統合した新団体とすることが、経産省主導で計画されていたのです。

下記は平成23年7月オゾン室資料(抜粋)

新組織JRECOの検討

- 団体再編の必要性
 - 対策の中心は当面、冷媒分野に大きくシフトするため、フロン対策全般に貢献する、経産省の制度事務等を補佐する、強力な団体の創設が必要
 - JICOPが果たしてきた国際交渉(モントリオール議定書)の進展等に対応するため、業界全体の受け皿も維持することが必要
 - JICOP、INFREP、RRCの役割を再定義し、冷媒対策中心にフロン対策全体を担う団体として合併し、関係団体の組織体制の強化
- 新団体の業務イメージ
 - 新冷媒管理体制の運営事務およびフロン回収・破壊法の行程管理制度の執行補助
 - RRCの現行業務
 - 技術開発等支援事務(補助金執行等)
 - 国際交渉への対応、研修等の途上国支援、業界の情報交換の場の設定等
- 新団体の形態案
 - 新団体の中心業務となる冷媒対策は、関係者が不特定多数であることから、新団体は財団形式が適切ではないか

下記はオゾン室と日冷工協議資料、平成23年9月(抜粋)

JRECO、JICOP、INFREP統合後の組織整理案

- 新財団に求められる機能
 - 冷媒回収普及事業
 - 冷媒技術者・事業所認定事業
 - 冷凍空調機器登録管理
 - オゾン層保護・温暖化防止事業
- 統合時の業務内容整理
 - ① 冷媒対策業務
 - 冷媒回収、漏えい防止に関する指導、認定、支援、普及啓発等の業務
 - 将来的な事業として、機器・冷媒管理制度関連業務

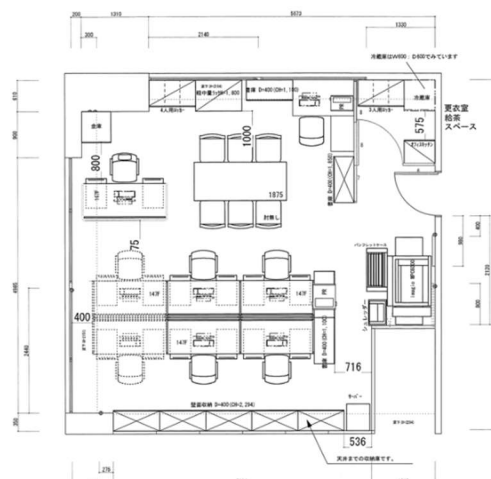
② 技術開発等支援業務

- 代替フロン等の排出抑制に資する先導的な技術開発・普及等への支援業務

③ 国内外の規制動向等に関する調査・分析並びにフロン類関連業界や政府との連絡・調整業務

➤ 世界最高水準の冷媒管理センター設立

JRECO 設立時の事務所



平成 23 年 10 月、機械振興会館別館 2F が JRECO 設立時の事務所、広さ 40 平米 (6.8m×6m)

平成 23 年度 (2011) 10 月 1 日より事業開始

- RRC 事業を日設連より移管 (技術者数 : 52,716 名、回収事業所数 : 2,847) ……平成 24 年 3 月 19 日時点
- 行程管理票の電子化 (RaMS の前身) 開発着手
- 5 名体制

JICOP、INFREP との合併

実は、この合併は結構な難事業でした。JICOP は平成元年設立でオゾン層保護・温暖化対策として業界では知名度もあり草分け的な存在でした。ポット出のどこの馬の骨だかわからない JRECO との統合合併など立場を逆に考えると、歴史と実績のある JICOP としては複雑な心境だったと思います。さらに、JICOP、INFREP とも事務所は本郷三丁目の改札から 20m 以内にあり、神谷町から坂を上る機械振興会館に移るのにも抵抗があったでしょう。何ごとにも表裏があるように、合併に向けての作業は複雑で簡単には行かないものです。表作業として設立時三団体を入れて、JICOP、INFREP、JRECO の関係者での検討会、何度行ったかも数えきれません。時にはオゾン室、産機課⁹⁾のメンバーも入ってくれました。いっぽう、当時 JICOP の会長社はダイキン工業株式会社であり、井上礼之会長が JICOP の会長を兼務されていました。こちらの調整は日冷工岸本専務理事が一手に引き受けて頂いていました。当時の我々はその労苦の詳細を全く知ることはありませんでした。つい先日、岸本氏 (現 : 環境エネルギーネットワーク 21¹⁰⁾ 理事長) にお目にかかった時「最後の合併が一番大変だった」と後述されていました。そのご尽力で JICOP の総会 (平成 24 年 5 月 25 日) にて、「組織体制の在り方の検討として、24 年度内の統合をめざして検討する」が承認され「総論」は方向付けが見えたのです。しかし、「各論」に至っては、新組織の名称も含めて課題が山積し 24 年度中の統合には間に合わず、検討を何度も重ねた結果、何とか平成 25 年 10 月 1 日に現在に至る JRECO が誕生することができたのです。

- ▶ 一般社団法人オゾン層・気候保護産業協議会（JICOP）は平成元年（1989）6月に旧通産省・基礎産業局フロン等規制対策室の指導により、産業界38団体が発足させました。当時の業界団体はJICOPをオゾン層保護・温暖化対策の代表と捉えていました。国際的な動向と情報を入手し各社の企業活動へ大いに貢献していました。具体的にはフロン対策に係わる国内外の規制動向・技術動向の調査、国際会議への出席と業界団体への結果の発信。フロン類排出抑制政策への協力としての意見集約、提言書など経済産業省オゾン室との密接な協力関係の構築、フロン対策に関する普及啓発などを行ってきました。しかしながら、特定フロンCFCの課題が解決した平成23年頃には設立時のような大きな組織ではなくなっていました。
- ▶ 冷媒回収推進・技術センター（RRC）は平成5年（1993）10月1日に旧通産省・基礎産業局フロン等規制対策室の指導により、日冷工、日設連の共同事業として特定フロン使用機器からの回収冷媒を再利用する組織として「冷媒フロン再生センター」設立されました。当初は日冷工の組織でしたが、平成18年（2006）に日設連に業務を移管していましたが、法人格を取得していない「任意の組織」でした。その後、平成10年（1998）に「冷媒回収推進・技術センター」と名称を変更し、冷媒回収の重要性の啓発、冷媒回収技術者の育成、回収装置の安全・性能基準策定など、冷媒回収に関するさまざまな事業を行ってきました。
- ▶ 一般社団法人フロン回収推進産業協議会（INFREP）は平成19年（2007）の法改正後に日設連、日冷工、JICOP、日本フルオロカーボン協会（以下：フルオロ協）が「改正フロン回収・破壊法」の啓発と回収率向上を目指す目的として設立した。改正法では行程管理票様式の共通化と運用が必要となり、INFREPは行程管理票の運用や指導などの啓発活動を行っていた。

- * 1 JRECO：一般財団法人日本冷媒・環境保全機構
- * 2 日冷工：一般社団法人日本冷凍空調工業会
- * 3 オゾン室：経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 オゾン層保護等推進室
- * 4 フロン室：環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 フロン対策室
- * 5 日設連：一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会
- * 6 産構審：産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会フロン類等対策WG
- * 7 中環審：地球温暖化防止対策小委員会、中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策WG
- * 8 フルオロ協：日本フルオロカーボン協会
- * 9 産機課：経済産業省 製造産業局 産業機械課
- * 10 特定非営利活動法人 環境エネルギーネットワーク 21

主査	作井 正人	三菱電機(株)
委員	鷺見 昌栄	アサダ(株)
	増本 幹夫	荏原冷熱システム(株)
	高嶋 敏夫	三洋電機(株)
	大西 晴夫	ダイキン工業(株)
	服部 仁司	東芝キャリア(株)
	亀井 孝一	日立アプライアンス(株)
	海原 誠	パナソニック(株)
	伊藤 博	三菱電機(株)
	鈴木 寛	三菱重工(株)
	門井 隆治	三菱電機ビルテクノサービス(株)
事務局	長谷川一広	日冷工

日冷工 漏えい対策 WG

委員長	(日設連)	鳥波 益男	東海サーモエンジニアリング(株) (日設連副会長・フロンリーク対策特別委員会副委員長)
委員	主査	(日設連)	石井 進 (株)日立ビルシステム ソリューション事業部
		(日冷工)	増本 幹夫 荏原冷熱システム(株) 藤沢工場
	(日設連)	(日冷工)	名迫 賢二 三洋電機(株)コマースカンパニー 空調事業部
		門井 隆治 三菱電機ビルテクノサービス(株)	
		伊丹 正夫 ダイキン工業(株) サービス本部企画部	
		狩野 博之 細谷工業(株)	
		木村源次郎 エコプラクティスコンサルティング(株)	
		高島 章吉 (株)東洋製作所 研究開発部	
		鍋島 巨 (株)三冷社 営業推進本部	
		美濃山貞敏 MGC・環境システム研究所	
オブザーバー	(日冷工)	作井 正人 三菱電機(株) リビング・デジタルメディア事業本部	
事務局	(日冷工)	瀬下 裕 技術部	
	(日冷工)	長谷川一広 技術部	
	(日設連)	山本 正良 技術部	
		河西 詞朗 冷媒回収推進・技術センター	
		大沢 勉 業務部	

日設連 フロンリーク対策点検・資格制度委員会

まずは地下鉄東西線九段下で下車、4番出口からスタートです。階段を上って出ると目の前に「昭和館」（博物館）があります。戦前・戦中・戦後（昭和30年頃）までの貴重な展示や資料があります。入館料は400円、1時間ほどで見学ができます。昭和館のすぐ隣に目の前に九段会館（旧軍人会館）があります。昭和館を出てすぐに目に付くのが、「高燈籠 常燈明台」で靖国神社正面の常夜灯として明治4年（1871）に建設されました。靖国神社（当時は東京招魂社）に祭られた霊のために建てられたといわれています。当時、九段坂の上からは、遠く筑波山や房州の山々まで見渡すことができ、品川沖を行きかう船にとっては大変良い目印として灯台の役目も果たしたそうです。



「大江戸今昔めぐり」で見ると、田安家と清水家が隣り合っていることがわかります。（この両家と一橋家を入れて御三卿と呼ばれていました）

この高燈籠の並びに、西郷従道海軍大臣と大山巖陸軍大臣の銅像があります、二人はともに従兄弟同士でした。高燈籠から内堀を渡ると目の前に田安門があります、これは江戸時代からのもので重要文化財となっています。

それでは、千鳥ヶ淵を左手に見て進みましょう、右手には千鳥ヶ淵戦没者墓苑があり、それを通り越すと、内堀通りに出会います。桜の季節はこの通りは東京花見の名所のランキングでいつも上位な場所です。内堀通り桜並木の反対側に英国大使館が見えてきます。

英国は安政6年（1859）より、公使館を高輪東禅寺におき、その後転々と場所を変え、維新後に江戸城から一番近い大名屋敷の跡地を、明治5年（1872）に日本政府から永久に貸与されたそうです。敷地は広く七戸藩上屋敷、榎羅藩上屋敷、七日市藩上屋敷、および旗本水野兵部の屋敷跡を合わせた12,306坪です。大使館脇の内堀通り沿いの緑地にはアーネスト・サトウ（イギリスの外交官：姓はサトウでも日本人ではありません）の記念碑があります。



時間があれば、英国大使館の敷地を一回りされると、その広さが実感します。英国大使館沿いに内堀通りを進むと半蔵門が通りの反対側に見えてきます。現在は皇宮警察が警備して普段はバリケードで塞がれています。以前、半蔵門側へ渡る歩道で信号待ちをしていたら 20 人ほどの人が半蔵門出口に集まっていた。ちょうどその時、一台の車が出てきて人々が手を振っていました。なんと、天皇皇后両陛下が車の中から会釈されていました。信号が赤で歩道を渡れず、お近くに行けずに残念でした。皇宮警察官に聞いたら、両陛下は普段この門からお出入りされているとのことでした。

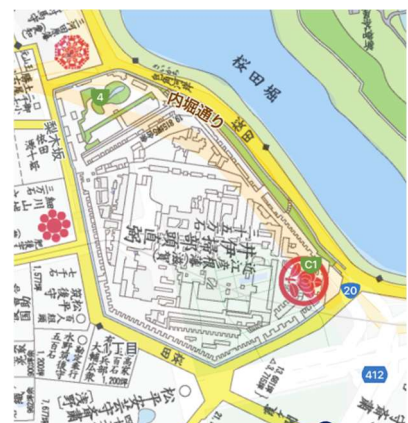
半蔵門は新宿通り（甲州街道）の突き当たりとなっています、この高台から日比谷方向への眺めは素晴らしい。東京にこんな場所があります、歩いて行かないと味わえません。



半蔵門と半蔵門から日比谷方向への眺め

半蔵門とは服部半蔵と関係があります。半蔵は家康からその忠義により、旗本に取り入れられこの門の警護をしていたからだとの説が有力です。半蔵門は江戸城正面の大手門に対して、裏口にあたる搦手門（からめて）です。この門は非常時には将軍が、天領の甲府へ甲州街道から避難するために用意されていました。そして、門前の甲州街道（新宿通り）四谷までの両側には警護のため多くの旗本が屋敷を構えていました。この旗本たちは武役五番方（大番、書院番、小姓組番、新番、小十人組）として普段から将軍の警護に当たっていました。彼らの屋敷はこの通りから市ヶ谷まで続いていましたので、現在でも、この辺りの住所は番町となっています。ちなみに、外堀の内側は城内となります。城内から城外に通じる場所には見附があり、夜（暮れ六つ：6時）から朝（空け六つ：6時）までは閉門し交通が禁止されていたとのこと。城内には旗本と大名屋敷だけで、町人は住むことはできませんでした。この江戸時代の武士のならわしや繁文縟礼（はんぶんじょくれい：規則や礼儀などが、こまごまとしてわずらわしいこと）、城内、城外などの情景をよく伝えてくれる本がありますので紹介します。浅田次郎著『大名倒産』、『流人道中記（上・下）』この本を読むと江戸の景色が見えてくるようです。

さて、左手に堀を見ながら内堀通りを下って行くと、国立劇場、そして最高裁判所の建物が右手に見えてきます。さらに、三宅坂の交差点を過ぎると幕末では一大事件があった彦根藩井伊家上屋敷跡地に到着します。



明治維新後は皇居近くの一等地ということで、昭和16年までは陸軍省、陸軍参謀本部が置かれた地です。戦後になって、憲政記念館や日本水準原点、電子基準原点が設置されています。憲政記念館には帝国議会開設後から政党政治の終焉までの出来事や人物などの展示があり、訪問されるのもよいかと思います。また、日本水準原点は、日本の高度基準の原点となっています。現在でもその基準として使われていると、「ブラタモリ」で解説していました。

昭和20年8月、ポツダム宣言を受諾するか否か、鈴木貫太郎総理を議長としての御前会議が開かれていました。陸軍省で、血気盛んな陸軍の若手将校たちは徹底抗戦を唱え、彼らを抑えるのに阿南惟幾陸軍大臣が苦慮しました。その様子が描かれている映画が『日本のいちばん長い日』1967年版（鈴木貫太郎：笠智衆、阿南惟幾：三船敏郎）、2015年版（鈴木貫太郎：山崎努、阿南惟幾：役所広司）です。当時の陸軍省は、昭和16年にここから市ヶ谷に移転したので、残念ながらその舞台はこの地ではないのですが、映画はネットで視聴できます、お時間を見つけてご覧ください。

さて、陸軍省と参謀本部の場所をご説明しました。それでは、海軍省と軍令部はどこか、意外なことに現在中央合同庁舎第5号館（厚労省・環境省）でした。保安の方に見学したい旨を伝えると、案内して貰えます。土日はお休みなので、平日に訪問されてください。



中央合同庁舎第5号館にある、海軍省と軍令部の碑



日本水準原点

話は「井伊掃部頭邸跡」に戻ります、元々江戸城時代初頭は熊本藩主加藤清正の屋敷でした。付近には清正が掘ったと伝えられる「桜の井戸」は名水で有名だったそうです。その後、加藤家は二代忠広の時に改易され、彦根藩井伊家が明治維新まで上屋敷としてこの使っていました。掃部頭（かもんのかみ）は歴代の井伊家宗家が名乗った官名で、幕末の藩主井伊直弼も掃部頭を名乗っていました。



せっかく、この地を訪れたので160年の昔に戻ってみることにしましょう。時は安政7年（1860）3月3日の節句、総登城の日でした。上屋敷の赤門から桜田門までの距離はたったの200m程度です。旧暦の3月3日は現在の3月20日頃にあたるでしょう。道の両側には行列みたさの見物人が多数いたそうです。当日は、季節外れの重たい雪が降っていました。「安政の大獄」で井伊大老から特に厳しい仕打ちを受けた水戸藩の脱藩浪士、彼らが中心にこの総登城の行列を襲ったのが、「桜田門外の変」です。興味を持たれた方は映画『桜田門外ノ変』、『柘榴坂の仇討』をご覧になってはいかがでしょうか。

概略は以下です。午前9時頃に、彦根藩邸の赤門が開いて、60名の行列が雪の中を傘と雨合羽をかぶり進んでいたところを襲撃されました。そして、護衛の侍たちは降雪のため刀を鞘袋に入れていたことが、わずかに17名の浪士たちに討ち取られた原因でもありました。



襲撃は、直訴を装って行列の先共の首を刎ねたことで始まりました。護衛の侍たちが先頭に向かい、大老の駕籠が手薄になりました。その隙、駕籠めがけて打たれたピストルの弾丸は大老の腰から股を貫き、大老は動けなくなりました。60名の行列のうち、武装していない足軽や駕籠かき、提灯もちなど全員逃げました。そして護衛の武士は、刀が抜けずにパニックになり、袋を被った鞆のまま、あるいは素手で刀を掴んで

の応戦、指や耳を切り落とされた者が多数でした。最後に駕籠から大老は引き出され、薩摩藩脱藩浪士の有村次左衛門に首を取られました。この時、井伊直弼は44歳でした。井伊直弼は居合いの達人でしたので、もしも弾丸が当たっていなければ状況は変わっていたかもしれません。

襲撃の時間わずか10分程度でしたが、道には雨合羽、雨傘、指、耳、腕、肉片がやまほど散らばっていたそうです。その後、彦根藩邸から助太刀がでるが、もう既に手遅れでした。現場には首のない井伊直弼の遺体と彦根藩士の遺体、真っ赤に染まった雪、指、耳、腕などが散らばっていました。全員で駕籠と遺体と肉片など全てを拾い、さらに桶を持ってきて血に染まった雪を回収して藩邸に持ち帰り、彦根藩は何ごとくも無かったように振る舞ったそうです。大老の首はその日のうちに藩邸に戻され、藩医が遺体に縫い合わせました。幕府には、大老は療養中と報告し、将軍家茂や水戸藩主からの見舞いもあったそうです（幕府も全て承知の上で対応）。そして幕府には、3

月 28 日に病死したと報告されました。ちなみに、頭を斬られた有村次左衛門は歩行が困難になりながらも、大老の首を引き摺りながら和田倉門（東京駅正面、御幸通り突き当たり）を渡った先まで行きつが、ついに歩けなくなり、若年寄遠藤但馬守胤統の屋敷の門前で自決しました。

桜田門は寛永 13 年（1636）の江戸城総構に改築したものが現存し国の重要文化財となっています。桜田門の道を隔てた反対側には警視庁が見えます、刑事ドラマには不可欠なアイテムになっています。



桜田門



伊達政宗終焉の地の案内（日比谷公園内）

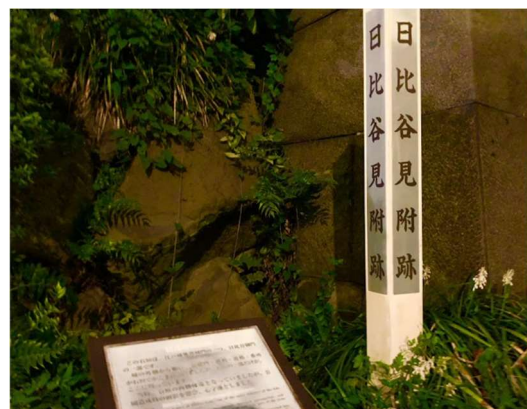


正面が警視庁、後ろに見えるのが警察庁

桜田門から内堀沿いに歩いて日比谷通入口から日比谷公園に入ると、伊達政宗の終焉の地があります。江戸初期には仙台藩上屋敷がこの辺りにあり、江戸参勤した寛永 13 年 5 月に 70 歳の生涯を閉じたそうです。さらに、日比谷公園の門を入ってすぐの左手にある石垣はかつて外堀に面していた日比谷見附跡です。慶長年間に肥後熊本藩加藤広忠(加藤清正の子)によって建築され、更に仙台藩伊達政宗により建てられた歴史ある石垣です。



日比谷見附の石垣（日比谷公園内）



さて、来た道を桜田門に戻り、江戸城内に入ります。そこは皇居外苑です、とても広く、ここが東京かと思うくらいです。



江戸時代の皇居外苑と現在

かつてこの皇居外苑の地は、老中、若年寄の屋敷となっていました。若年寄、老中は幕府の重鎮でしたので、参勤交代を解かれ、江戸城のすぐそばに居を構えていました。皇居の周りには楠木正成公と和氣清麻呂公の銅像があります。和氣清麻呂は奈良時代に弓削道鏡から皇統を護り、楠木正成は鎌倉幕府を倒し、その後は後醍醐天皇の命を受け湊川の戦いで足利尊氏に敗れた武将です。詳しくは歴史の物語を紐解いてください。楠木正成公の銅像は皇居外苑の西側、桜田門を抜けて 300m ほど歩くと見えて来ます。



この楠木正成像は、明治 22 年 (1889 年) 末、当時の住友総理人の広瀬幸平 (初代総理事) が、別子銅山開坑 200 周年を翌年に控え、住友家 13 代当主住友友忠と相談し、別子銅を用いて銅像を製作し宮内庁に献納することを決めました。製作は、岡倉天心が校長を務めていた東京美術学校 (現在の東京藝術大学の前身) に依頼。高村光雲が主任となり、指揮をとったそうです。

さて、二重橋を見てから皇居前広場を和田倉門に向かって進みます、本当に広すぎてなかなか和田倉門には近づかない気がします。頑張って、歩きましょう。和田倉門の手前で御幸通りの先に、新しくなった東京駅が見えてきます。



和田倉門より御幸通り越しの東京駅と和田倉門

和田倉門を通り日比谷通りを左に折れ、ビル街の中を進みましょう。大手町交差点を越えた次のブロックに箱根駅伝で有名な読売新聞本社があります。その角を左に曲がるとすぐに、将門塚があります。（地下鉄大手町 C5 出口）



地下鉄大手町 C5 を出たところにある将門塚



「平将門の乱」天慶2年（939）、自らを「新皇」（しんのう）と称して天皇だと宣言しました。これは朝廷への反逆となり平貞盛により、下総の地で成敗されました。その首は藤原秀郷が持ち帰り、平安京の七条河原にさらしました。首は、数ヶ月経った後も目を開いたり閉じたりを繰り返し、ときには「首を繋げて再戦したい」と叫ぶなどして民を恐怖にしたそうです。その後、平将門の首は怨念により故郷の東国に向かって飛んでいき、その首が落ちた場所の一つが、ここ「将門の首塚」と言われています。関東大震災後の首塚跡地に大蔵省の仮庁舎を建設する際、建設関係者（屋橋宮繕局工務部長・武田政務次官・荒川事務官ら計14人）に足の怪我が相次ぎ、時の大蔵大臣・早速整爾（はやみせいじ）が、就任3ヶ月にして「不審な病死」を遂げています。大蔵省は、省内の動揺を抑えるため仮庁舎を取り壊し、昭和2年4月27日に大鎮魂祭を行なっています。

さらに、将門没後 1000 年目にあたる昭和 15 年 6 月 20 日、大蔵省本庁舎に落雷が落ち炎上しました。次に、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が周辺の区画整理を行なう際にも、事故が多発したため中止になったそうです。というわけで、現在では、東京都教育委員会が所有し、近隣の企業が参加した「史蹟将門塚保存会」が設立され、維持管理がされています。

ちなみに、将門塚のある場所は、江戸時代、酒井雅楽頭の上屋敷の中庭にあたります。一般には寛文 11 年（1671）3 月 7 日「伊達騒動」（だてそうどう／寛文事件）として知られる事件が起きた場所です。仙台藩 3 代藩主・伊達綱宗が遊興放蕩三昧で、吉原通いで藩政を顧みないため重臣たちの権力闘争に発展。大老・酒井忠清邸で行なわれたのが二度目の審問でした。その審問中に大目付らを前にして、伊達宗重（だてむねしげ）と伊達宗倫（だてむねとも）の両者から事情聴衆する直前、控え室で原田甲斐は、なんと伊達宗重を斬殺してしまいました。昭和 45 年の大河ドラマ『縦ノ木は残った』はこの顛末をドラマ化したものです。

さて、将軍塚でお参りを終えて、内堀通りを 150m ほど北に進むと「和氣清麻呂像」があります。和氣清麻呂は奈良時代後期から平安時代前期に活躍した貴族で、第 48 代称徳天皇が寵愛した弓削道鏡から皇統を護ったことで、京都御所の蛤御門の向かいにある護王神社に御祭神として祀られています。第 46 代孝謙天皇は聖武天皇の内親王でしたが、皇子が不在でしたので聖武天皇が譲位され天皇となり、さらに 48 代称徳天皇に重祚（退位された天皇が再び皇位につくこと）された女性天皇です。興味深いことにこの女性天皇が天平勝宝元年（749）即位してから神護景雲四年（770）崩御されるまで 4 回改元されたのですが、珍しいことに全て 4 文字元号なのです。この奈良時代、皇統は天武系から天智系へと代わり、それとともに藤原式家の興隆、桓武天皇の誕生など奈良時代 85 年間を、桓武天皇の実母である高野新笠の生涯を通して描いた本があります。『高野新笠の生涯 闇に浮かぶ虹』牛尾日秀著これはお勧め、奈良時代の全貌が見えてきます。その本から、道鏡と称徳天皇の一節を紹介します。

神護景雲 3 年（769）

宇佐八幡宮神託事件：「道鏡が皇位に就くべし」との託宣を受けて、弓削道鏡が天皇位を得ようとしたとされ、紛糾が起こった。

この神託は道鏡の弟（大宰帥の弓削浄人）の画策だったが、それを知らない称徳天皇は迷い、事実かどうかを確認するために、臣下の和氣清麻呂を宇佐八幡宮に出向させた。ところが、帰京した清麻呂は全く反対のことを伝えた。

「宇佐八幡の御神託では、『我が国は開闢（かいびやく）このかた、君臣のこと定まれり。臣をもって君とすることは、いまだならず。天つ日嗣（ひつぎ）は必ず皇諸を立てよ。無道の人は早に掃い除くべし』と下りました」（現代語訳：「我が国は始まって以来、天皇と臣下の区別は定まっていて、臣下が天皇になった例はない。皇位には皇統の人を立て、無道の人は排除せよ」）

称徳天皇は迷ったあげく、清麻呂の言葉を作り毎の神託として流罪に処した。

ところが、藤原氏をはじめとする廷臣たちから激しい反発を招いてしまった。乱を恐れた称徳天皇は、道鏡に皇位を継がせないことを決めた。ただ、こうした称徳天皇の迷走ぶりが皇位継承の闘争を招くのであった。

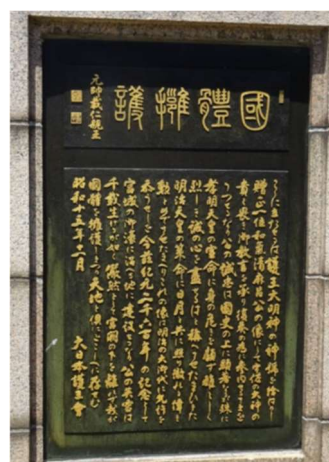


和氣清麻呂肖像
(丙10円券、昭和5年発行)

10 円券の和氣清麻呂



和氣清麻呂像（地下鉄竹橋 2 番出口）



宇佐八幡宮神託事件で失脚した和氣清麻呂（左遷され、別部磯麻呂（わけべのきたなまる）に改名させられる）は、称徳天皇が崩御となったため、光仁天皇によって配流先の大隅国から都に呼び戻されました。清麻呂は次に即位した第五十代桓武天皇からはさらに重用され、平安京への遷都を進言し、自ら建都事業に尽力しました。

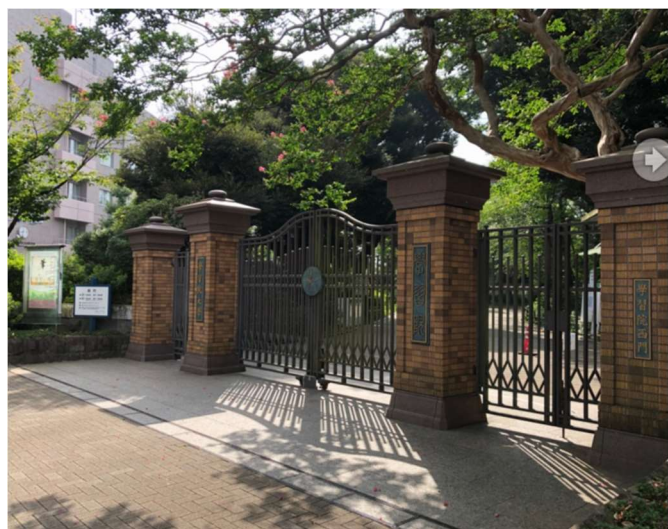


和氣清麻呂像の内堀通り反対側は御三卿の一橋家の屋敷がありました。田安家、清水家跡地には門などが残り屋敷の面影はありますが、一橋家は丸紅竹橋本社ビル、KKR ホテル東京、大手町合同庁舎第3号館、東京消防庁本部庁舎などが建ち並び跡形もなくなっています。ただ、一橋門の周りには、当時の一橋家の石垣が残っています。徳川慶喜も水戸藩から一橋家養子時代はこの屋敷にいたことでしょう。

この場所から、北東方向約 200m 程度の場所に「学習院開校の地」があります。現在は石碑だけがあります、まだ元気があればご覧に行かれて下さい。学習院とはかつて京都御所の中にあり皇族、公家の子弟が学ぶ場所でした。明治になって天皇が東京に行幸（京都では、天皇は東京に一時的に出かけられたことになっています）された時に、多くの公家たちとともに学習院も宮城（皇居）の近くに移りその場所がここです。学習院とはJR 目白駅横に初めからある学校ではなく、江戸時代後期に幕府から許されて開講されたのです。



学習院開校の地（千代田区神田錦町2丁目2-9）



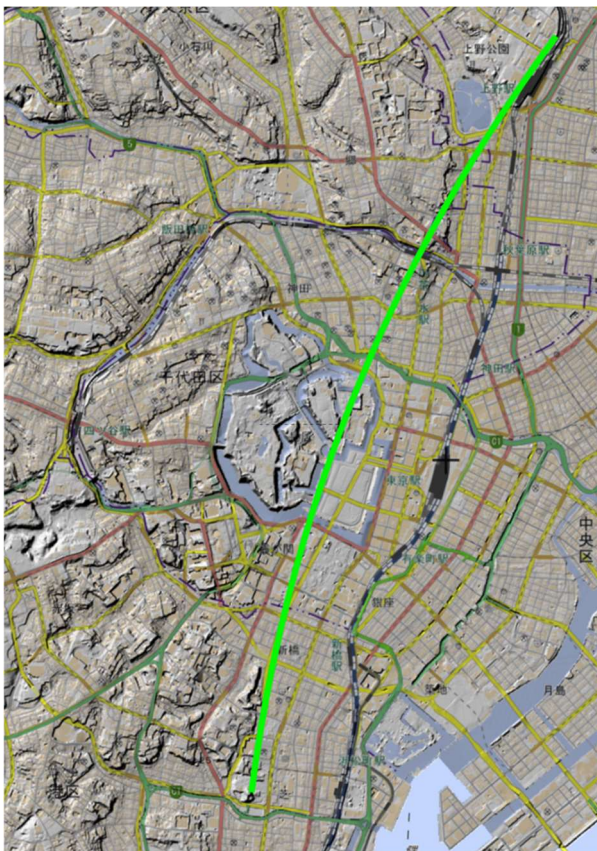
JR 目白駅前の学習院大学

さて、あちらこちら連れ回しました、ここで大手門まで戻って下さい。「何だよ！」というご不満も聞こえてくるでしょうが、そこは歴史探訪も兼ねていますのでお許し下さい。これから、大手門を抜けて「皇居東御苑」に行くことにします。ここは宮内庁が管理している入場料無料の旧江戸城御殿です。あまりご存じのない方も多いと思いますが、一見の価値は十分にあります。休日でない、月曜日と金曜日は休園日となっています。



大手門 高麗門渡櫓（わたりやぐら）型の櫓門で構成された典型的な柵形門の形式（石垣を四角く巡らして直進できない通路を設けた門）で、渡櫓の櫓門は桁行22間（40m）、梁間4間2尺（7.9m）という大規模なもの。渡櫓門には長大な武器庫である建物を載せていました。

元和6年（1660）の江戸城修復に際し、伊達正宗らが天下普請として築造した江戸城の正門です。この門は柵形形式（ますがた＝橋を渡ってから道は鍵型に屈曲する）となって、その櫓門には鉄砲30丁、弓10、長柄20が配備される厳重な警備だったようです。ただし、昭和20年の空襲で焼失し、昭和41年の東御苑開園に復元されました。



緑のラインは海岸段丘

大手門の場所は家康が江戸に入った天正18年（1590）当時は日比谷入江の際（きわ）だったので、土地の高さは低くなっています。門を潜って本丸までは海岸段丘への登りとなります。さらに途中にはいろいろな歴史的な建物があります。百人番所、中之門跡、などとさすがに江戸城は広いです。



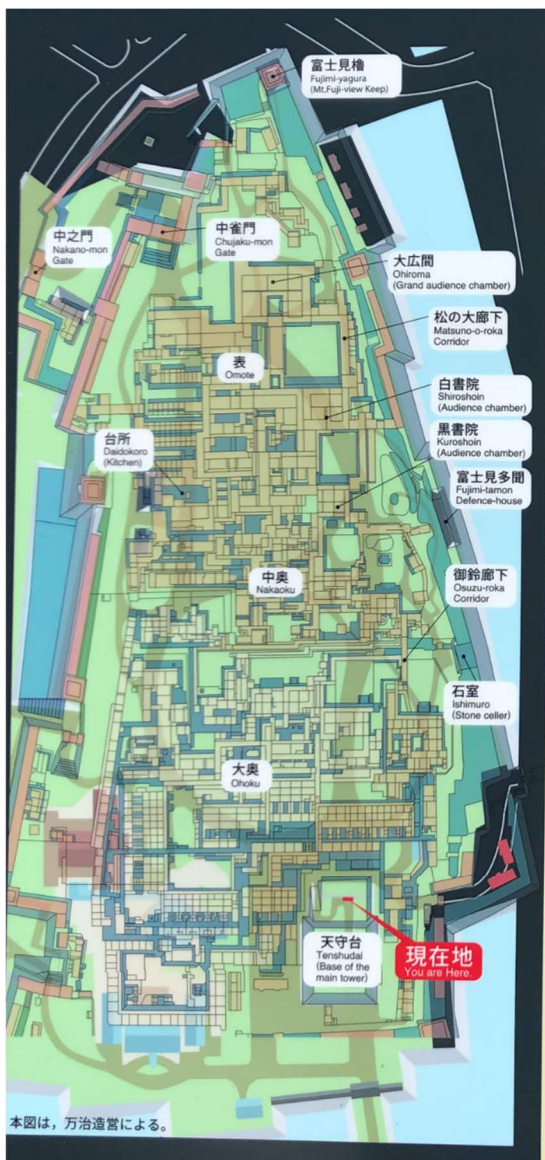
百人番所

松の大廊下跡、大奥跡、天守台跡などが広々とした場所に点在しています。人も少なく広々とした緑の向こうに見えるビル群を臨む景色などは絶景です。



本丸跡、天守台下より丸内のビル街を臨む

この広い本丸跡でしばしボーッとするのも良いでしょう。以前、ここに訪れた時に松の廊下跡で若い白人の男女たちが寝そべっていました。それを見た友人が「不敬もの“攘夷討ち”だと！」と笑っていました。本丸には此处でしか買えないものを売っている売店や天守閣などに関する資料館があります、お立ち寄りください。



江戸城本丸御殿

Edo Castle Honmaru Goten Palace
江戸城本丸御殿 에도성 혼마루 고텐
Donjon et château d'Edo
Castillo y Palacio de Edo

この天守台から見える大芝生とその周辺には、江戸城本丸御殿の建物が立ち並んでいました。本丸御殿は、表、中奥、大奥という三つの空間に分かれていました。

表は、将軍の謁見など公的な儀式・行事、幕府諸役人の執務の場で、中奥は将軍の日常生活、政務を執る場、大奥は御台所と呼ばれた将軍の正妻をはじめ家族や女性たちの生活の場でした。

The large lawn and surrounding area seen from this Tenshudai (Base of the main tower) were formerly lined with the buildings of the Honmaru Goten Palace. The Honmaru Goten Palace consisted of three sections, namely, Omote, Nakaoku and Ohoku.

Omote was the stage for general public ceremonies, and the place of work for various government officials of the Shogunate. Nakaoku was where the shogun lived his everyday life and administered the affairs of state. Ohoku was where the shogun's family, including the wife of the shogun called Midaidokoro, lived, and where other ladies or female staffs also lived.

本丸跡にある資料館の展示内容を紹介します。江戸城の天守は3度も立て直されています。寛永15年(1638)に最後の天守が竣工しましたが、明暦の大火で焼失し天守は20年間しか存続しませんでした。4度目の天守の再建計画はありましたが、石垣の天守台のみ造られて中止となりました。理由は明暦の大火での復興を優先させたと言われています。以降は、本丸の南にある富士見櫓(現存)が天守の役割をしたそうです。ちなみに、現在の天守台は万治元年(1658)に加賀藩が築造を担当しました。天守がない状態が210年間続き、江戸時代は終わりました。それでは、最後は天守台に登ってみましょう。



天守台



天守台よりのビル群、令和の御代に行われた大嘗祭の場所は、この地、皇居東御苑でした

いよいよ、もうすぐゴールです。天守台を降り、北桔橋門より本丸(皇居東御苑)を後にしましょう。



北桔橋門を出て、堀を渡ると正面が北の丸公園があり、それを通り抜けると田安門のゴールです。



北の丸公園の中央の道を少し右に折れると、吉田茂の銅像があります。その少し先に清水門があります。お疲れでしょうが、元気があれば清水門もご覧下さい。もうすぐ終了です。



田安門は寛永13年（1636）に建てられたと考えられています。田安門の東側一帯は御三卿の清水家、西側は田安家が所有して、武道館は清水家跡地にあります。この一帯は田安台と呼ばれた百姓用地で、そこには田安大明神（現・築土神社）があったことから田安台と名付けられました。



ここがゴールです。

お疲れさまでした。

長いご案内でした、最後まで読んで頂きありがとうございます。

そろそろ暑さも過ぎて秋のさわやかな季節になります。これが、みなさまの散策の切掛となって頂ければ幸いです。

<ご紹介>

- 携帯アプリ
 - ・ 「大江戸今昔めぐり」（無料）
- 博物館・庭園
 - ・ 昭和館（入館料400円）

- ・ 憲政記念館
- ・ 皇居東御苑（休園日休日でない月・金）
- 本
 - ・ 『大名倒産』、『流人道中記（上・下）』 浅田次郎著
 - ・ 『高野新笠の生涯 闇に浮かぶ虹』 牛尾日秀著
- 映画
 - ・ 『桜田門外ノ変』 2010年公開（大沢たかお、長谷川京子、榎本明）
 - ・ 『柘榴坂の仇討』『五郎治殿御始末』（ごろうじどのおしまつ）浅田次郎による短編小説、2014年9月には映画化（中井貴一、阿倍寛、広末涼子）
 - ・ 『日本のいちばん長い日』1967年版（鈴木貫太郎：笠智衆、阿南惟幾：三船敏郎）
 - ・ 『日本のいちばん長い日』2015年版（鈴木貫太郎：山崎努、阿南惟幾：役所広司、昭和天皇：本木雅弘）

III. 作井正人の米国駐在記

すこし昔の話にはなりますが、私が2003年～2006年の3年間、カリフォルニア州のIrvine市で過ごして感じたことを連載します。アメリカ文化とアメリカ人気質を理解して頂けるきっかけになって頂ければと思います。

<カイロプラクティック>

以前 JRECO 通信 11 でのカイロプラクティック通院の詳細を記すことにする。当時、会社が用意してくれたパソコンはノート PC で出張に持って行けるタイプだった。そして、自分のデスクには Dock があり、はめ込むとデスクトップ PC になる仕様。下に Dock スペースを確保するためモニターは高い位置にあり、いつも見上げて作業をしなければならなかった。2ヶ月もそれが続くと、背中が痛くてたまらなくなった。医者に診て貰いたかったが、現地の医者に行くのは敷居が高かった。同じ痛いでも、「ジクジク痛い」、「刺すように痛い」、「重く痛い」などなど、日本語では説明できるが、英語では I have a pain in my back. (背中が痛い) の pain の前に bad を付ける程度しか表現ができない。そのまま、数日間我慢していたが、あまりに痛いので、困ったときの伊藤君（前出）に相談することにした。彼の部署まで出かけて、いい医者知らないかと尋ねると、「こやっと笑って」隣の Lake Forest 市にあるカイロプラクティックを紹介してくれた。

さっそく、教えられた住所のカイロプラクティックに出向いた。カイロプラクティックは結構ポピュラーだそう。診察室に入ってビックリした、治療してくれるのは美人の Dr. Wever 先生だった。先生の指示で診察ベッドにうつ伏せになり、Wever 先生は私の体にまたがって両腕で、私の背骨、肩、首を曲げたりの治療を 20 分ぐらいしてくれた。美人先生の施術は心地良い、伊藤の“ニヤリ”の意味がわかった。筋肉が固くなって背骨がゆがんでかなり悪くなっている、先生は「よく我慢していたわね」。他にも腰と首の異常を見つけ、「あなたの首はかなり悪い、頭痛がするでしょう?」、「いや別に」と答えると。「sensitive でないのね」と笑われた。治療が終えると、背中痛みはかなり良くなっていた。帰りがけに、先生は私の首から提げていた ID を見て、「あら、あなたの会社の人たちたくさん来るのよ、何でなの?」。美人の先生はきっと駐在員のロコミで広がっているのだろう。その後、週一回の通院を

3週間ほどで、完璧に痛みは消えた。先生から首が悪いと言われたことが、将来私に降りかかってくるとは、その時は全く予想になかった。



受付には、ハロウィーンパーティで仮装（オズの魔法使い）した写真が飾ってあった。主人公を演じているのが Dr. Wever 先生

<脊柱管狭窄>

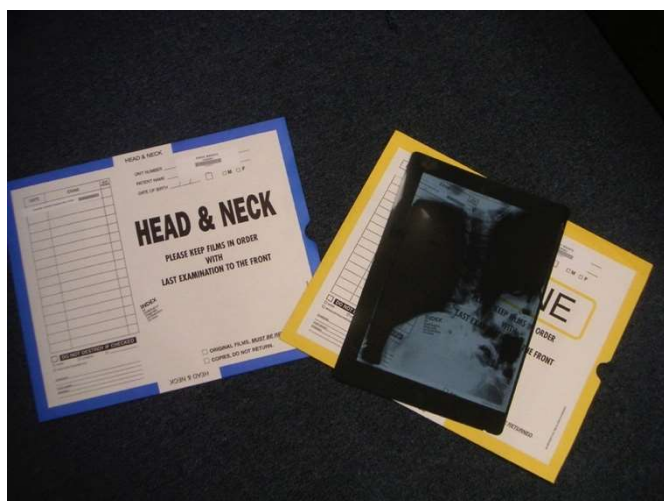
一年ほど経って背中中の痛みが再発した。また、Dr. Wever 先生を訪れたが、受付の雰囲気が以前と変わって殺風景、待合室に患者もいなかった。名前を呼ばれて診察室のドアを開けると、Dr. Wever ではない、若い男の先生だった。Dr. Wever はと尋ねると先月に引っ越したとのこと、仕方なくその兄ちゃん先生に治療をしてもらった。こいつがまたよく喋る、ペラペラ喋りながら、私の体に乗って、力一杯に骨をほぐしたり、首の骨を調整してくれたが Dr. Wever の丁寧な施術とは全く違う、下手くそだった。帰る時には、治るどころか前よりも悪くなった気がした。家に帰ってからが大変だった、両腕が痺れ、背中中の痛みは最悪だった。通うたびに、ドンドン痛くなった。背中中の肩甲骨下の筋肉、左腕の激痛、最後は指まで痺れてきた。痛みというのは、他人に理解して貰えない辛さがある。10日ほどして、Richard と Ed がカイロプラクティックをやめてドクターに診て貰うべきと助言してくれた。

日本では、首が痛ければ整形外科とか病院に直接行くが、アメリカではまず Home Doctor に行かなくてはならない。以前に健康診断を行ってくれたドクターが Home Doctor になっているので、まずその先生の所に出かけた。

そして、最初の診断では筋肉痛ではないかとのことでステロイド剤を処方されて、しばらく様子を見るようになった。しかし、この薬を飲んでも殆ど痛みの改善はなく。デスクワークが大変だった、特にパソコンのキーボードを触ると左手、肩、背中に痛みが走り耐えられなかった。

次の、通院の日に先生は X 線撮影をすると決めた。そして、カイロプラクティスへの通院を控えるようにと指示された。X 線撮影装置は個々の医院には置いていない。ここでは、複数の歯科や Home Doctor のクリニックが一つの地域やビルに集まっていて、その一角に CT、MRI、X 線撮影を専門に扱っている医療機関がある。従って、それぞれのクリニックが高額な装置を購入せずシェアをしているようなものだ。首の X 線撮影をしてもらい、その施設の Dr. のコメントとフィルムを Home Doctor に持っていった。X 線撮影ではよく原因がよくわからないので、今度は MRI の撮影をすることになった。

MRI 機器の撮影には隣の New PortBeach 市の検査機関まで行かなくてはならなかった。撮影後に検査施設の Dr. から「若いときに、Football やっていたか?」と聞かれた。うなずくと、Dr. はやっぱりと言って、首の脊柱管が狭窄していると言った。Football 経験者に多いと言われ MRI 画像と検査結果のコメントを手渡された。



MRI の結果はホームドクターに持って行くようにと手渡された

Home Doctor から、MRI の結果を診ると、神経を通る骨の管が細くなって神経を刺激しているとのことで Football の後遺症だろうと診断された。そして、またステロイド剤の処方をして貰った。今度のはかなりの強力タイプで、飲む量と減らす量をカレンダーに書くように、そしてしばらく人混みに出かけるなど調剤薬局で指示された。さすがに、今度のステロイドは良く効く。飲み始めてすぐに、激痛 (?) は改善されたが完璧ではなかった。



毎日の飲み方がわかるようになっている。1日目6錠、2日目は5錠と間違えないようになっている。

その後、炎症がだいぶ改善されたので暫く様子を見ることになった。Home Doctor から、今後さらに悪くなったときは X 線で見ながら、ステロイド剤を注射で直接神経に入れる処置をするとのこと。これは長い針を骨の間から入れるので抜群の効果はあるらしいが、痛いらしい。その話は Ed から何度も聞いていた。先生に「その注射は痛いらしいですね？」と聞いたら、「危険は少ないですが、注射は痛いですよ！」

そんなある日にテレビを見ていたら首の筋肉を強化する体操があった、藁にもすがる思いでその体操を 3 週間ほど続けたら、何とか背中と腕の痛みは良くなった。筋肉が強化されて骨への負荷が減ったのだろう。しかし、未だに首は完全ではなかった。確かに、Football にはいろいろと感謝するが、とんでもないものを背負い込んでしまった・・・くわばらくわばら！

ちなみに、X 線撮影の請求額は \$360、MRI は \$1700 程になる。健康保険で全額カバーされたが、日本と比べとても高額だった。

<Hospital>

日本は至るところに病院があるが、アメリカでは市内には数えるほどしかない。病院の近くでは、高速道路の出口や、交差点にシンプルな <Hospital> や <H> の表示があるだけで日本とは違う。

アメリカでは Home Doctor を介しないと病院には行けない。つまり、具合が悪くなったらまず Home Doctor がその患者を診て、病院へ行く行かないの判断をする。日本でも紹介状がないと病院では診て貰えないのが前提だが、お金さえ払えば初診を受け付けてくれる。日米の病院に対する考え方の違いだ。さらに、日本では病院は数も多く、CT、MRI、超音波診断機、内視鏡などの高額な医療機器がそれぞれの病院に配置されている。それゆえ、日本の医療機器総数、国民一人あたりの医療機器数ともにアメリカより多い。これが日本の病院経営を圧迫し、国民の医療費負担増になっている元凶ではないか。確か、コロナの流行り始めた頃、日本が所有している CT の数は世界一だとかニュースにあった。例えば、日本の農業も同じかもしれない。さほど耕地面積の広くない農家がそれぞれ高価な農機具を所有している。農機具メーカーや仲介している農協に取っては良いビジネスだが、買わされている農家の経営は苦しくなり、消費者は高い物を買わされているということだろう。



シンプルな病院のマーク標識、Hと共にHOSPITALと書いていることもある

そんなアメリカの病院でも、緊急の場合はER (Emergency Room) での処置はしてくれる。ある時、家内が土曜日に包丁で手を切った時にはERで縫合してもらった。

救急車は日本と比べると派手で大きい、ときたま消防車に先導されて走っているのを見かける。そして、アメリカでは救急車は有料でそれも高額だと聞いた。



アメリカの救急車

余談になるが、以前に身内がアメリカで心臓手術をしたとき私がアメリカの病院に付き添ったときのこと。彼の手術が終わると、日本と同じようにまずICUに入った。ところがICUには患者毎のテレビを天井に備え付けて、それぞれの患者が音を出して聞いている。そして携帯電話で電話をしても構わない、身内も病室から会社に電話をしていた。驚いたのは、Dr.も看護師も普通にコーヒーを持ち込んでいる。瀕死の患者がいるICUなのに何て開放的なんだろう！看護師さんたちには自己紹介していたので、翌朝、私もコーヒーを手にICUへ、看護師さんたちからは「Hi! Masato, how are you?」、それも笑顔だった。日本のICUにコーヒーを持ち込むことなどあり得ない。さすが、アメリカ、細かい事は言わない。そう言えば、テレビのニュースキャスターたちも放映中に持ち込んだコーヒーを飲みながらトークをしているのが普通だった。

<体から発する音・忌避>

欧米では、人前でのゲップが禁忌なことは日本人もよく知っている。日本でも食事でのゲップは品がないと思われる。さらに、食べ物、飲み物をすするのは言語道断。しかし、これは日本では問題ない、茶道ではお茶をすすり、ソバもうどんもすすらないと美味しくない。文化の違いは大きい。

クシャミをすると、通りすぎの人からも「God bless you!」とか、「Bless you!」と言ってくれる。これは、クシャミをすると体に悪魔が入り込むので、そう言って封印をしたのが始まりだそうだ。私もある展示会の会場で、

クシャミが連続に出て止まらなかった。一緒に会場を歩いていた Margie はその度に、さらにすれ違う人たちからも「God bless you!」の連発をもらった。

日本人がよくやるのに、鼻をすするのは嫌われる。日本でもあまり良くないことだが。

「鼻をかむ」これも人間としての自然現象ではあるが、こちらの人はティッシュでなく、ハンカチで用を足す。ひょっとして、映画やドラマで鼻をかむシーンを見た記憶があるでしょう。そして、日本ではティッシュを重宝するが、アメリカ人はティッシュをあまり使わないようだ。食事中はナプキン、ファストフードでは紙ナプキン。だから、ティッシュで鼻をかまないのか。ポケットから取り出したハンカチで何度もそれで用を足している。我々から見たら、「えー」と思う。また、驚くことに鼻をかむ音が「チーン」と異常なほど大きい、よくそんな音が出るものだと感心する。

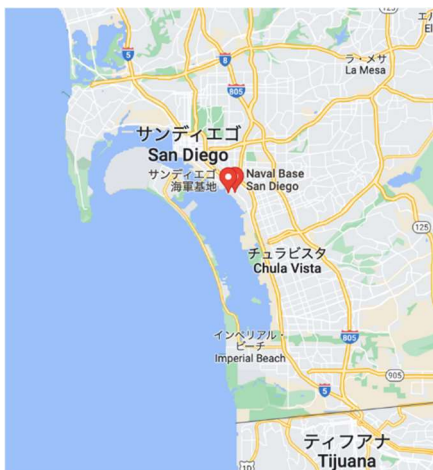


トイレには手拭き用の紙が備え付けてある

トイレには必ず、備え付けのペーパーがあり、それで手を拭う。あるとき、日本人出張者がトイレでハンカチを使うのを見た米人がギョッとしていた。おそらく、日本人はなんて不潔なんだとでも、思ったのかもしれない。

<San Diego>

アメリカに来てからほぼ1年、仕事、生活にも慣れたころ、San Diego で開催された展示会に出展した。San Diego は Irvine から 90 マイルの距離にあり、車でも1時間ちょっと、アメリカ的にはごく近所。5号線をさらに10km 走るとそこはもうメキシコのティファナ (Tijuana) の町、検問所がないのでそのままメキシコ領に入ってしまう。メキシコからアメリカには検問所があるので、パスポートを持っていないと、アメリカ側に戻れなくなってしまう。San Diego はメキシコに一番近い街の一つで、きれいでこぢんまりとした歩く街で、日本人には相性がある。



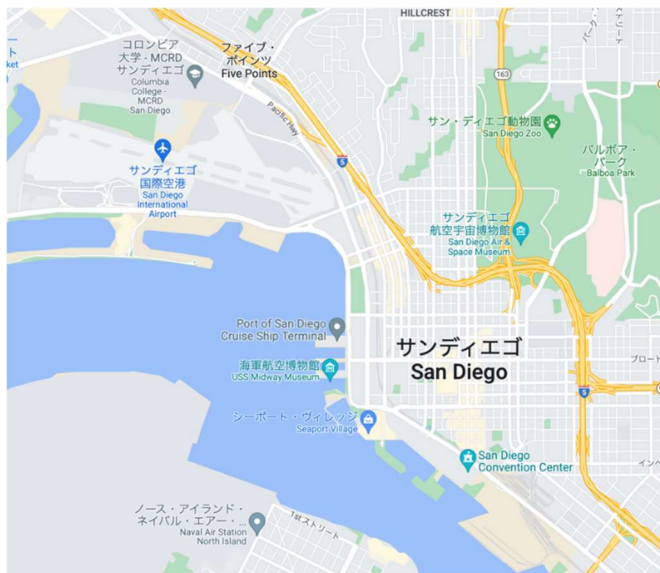
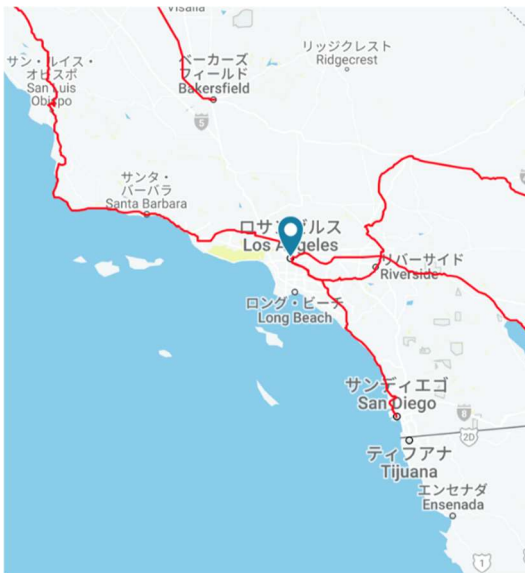
San Diego が美しい良港だということは、地図で見てもわかるだろう。良港ゆえに、アメリカの主力な海軍基地がある。飛行場がダウンタウンの先の海沿いにあるので、着陸の飛行機がまるでビルの間を飛んでいるようだった。



海岸沿いには帆船が停泊、海軍基地があるため制服姿の軍人を見かける、沖には空母が停泊



Amtrack (鉄道) の終着駅の Santa Fe 駅と市内を走るトロリー



Amtrack (鉄道) 路線図と San Diego 国際空港

展示会場 (Convention Center) は海沿いにあり、アメリカの展示会場としては大きくない部類で東京ビックサイト程度だろうか。展示会場の脇には Amtrack とトロリーが並行に走っている。

この Amtrak は Los Angeles から Santa Fe まで来ているものだが、一度も乗ったことがなかったが Irvine にも駅がある。今思うと、乗車して置けば良かった。翌朝、Richard が、船、Amtrak、トロリーの汽笛がうるさくてよく寝られなかったとホテルの防音が悪いとぼやいていた。確かに、宿泊したホテルの立地場所が悪かった。

トロリーはそれほど広くない San Diego の市内を循環している。切符は自動販売機、改札はない。Jose に「ただで乗る人がいるだろう？」と言ったら。「良心に任せてるんだ」と言った。「へー、このアメリカで良心！」と思っていたら。彼が、「たまに警察がチェックする」また、「Police will give you a expensive ticket.」だった。

最終日には、我々全員で Old Town（車で 10 分程度の昔の町）へ打ち上げに出かけた。米人達とは普段は車通勤の為、ちょっと一杯はないが、泊まりの出張ともなると結構飲む。

市内の繁華街、丁度新宿、渋谷、池袋のようにバー・レストランが建ち並んでいる。5月5日はメキシコの独立記念日(?)、町中お祭り。この通りも、新宿・渋谷のように、若い人たちが深夜まで騒いでいた。(近くに大学が2つ有り、まさにヤングの町、日本とはだいぶ違うけど、若い人たちの騒ぐのは同じ)

最後まで残ったメンバーとお客さんを入れて、Tacos で打ち上げ。マルガリータが美味しかった。また、Tacos の皮は小麦粉とトウモロコシの両方があるが、米人達はトウモロコシが美味しいと言っていたが、どうも私は小麦粉の方が好みだ。



”流し” がやってきてメキシコの歌を歌う。当然チップが必要。Richard は 20 ドルを払ってお釣りを貰っていた。さすがに 20 ドルは払えないだろう。



昼食で食べた Fish タコス、値段も 6.6 ドルこの店は美味かったの、それからはやみつきになって家族で何回か食べに来た。



いつもいがみあっている Margie と Richard、この時ばかりは仲良くしていたので一安心

<空母ミッドウェイ>

San Diego の展示会場のすぐそばの桟橋に退役した「空母ミッドウェイ」が博物館となって停泊している。名前が少し気に入らない空母だけど、日本からの出張者など土日に連れて行き喜んで貰った。入場料は当時 8 ドル程度だった。就役：1945 年 9 月 10 日、退役が 1992 年 4 月 11 日とのことなので日米戦争にはギリギリ関係がなかった。たしか、横須賀を母港としていたはず。



桟橋に接岸して博物館となっている空母ミッドウェイ



甲板に航空機の展示

甲板には、艦載機などが展示されていて戦闘機マニアにはたまらないのかもしれない。



映画の『Top Gun』で使われた二人乗りの艦載戦闘機 TOM CAT、後ろからの曲線が何とも言えなく美しい、頭が猫のようにも感じる。



隣の桟橋にまさに、客船が入港



亜弥を訪ねて友人二人が遊びに来た、San Diego では fish Tacos の昼食は喜んでしたが、女子高生たちは空母に全く興味なし。我が家に滞在中はもっぱらディズニーランドと South Coast Plaza でのショッピングだった。

To be continue 次号へ続く

お楽しみいただきましたでしょうか？

JRECO 通信は不定期刊行ではありますが、次回もご期待願います。

JRECO 通信のバックナンバーはホームページに掲載中

https://www.jreco.or.jp/jreco_news.html